

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年6月2日(2016.6.2)

【公開番号】特開2014-214127(P2014-214127A)

【公開日】平成26年11月17日(2014.11.17)

【年通号数】公開・登録公報2014-063

【出願番号】特願2013-93340(P2013-93340)

【国際特許分類】

C 07 F 15/00 (2006.01)

【F I】

C 07 F 15/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月11日(2016.4.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

含窒素複素芳香族化合物と、トリス(-ジケトナート)イリジウムとをオルトメタル化させてオルトメタル化イリジウム化合物を合成した後、未反応の前記含窒素複素芳香族化合物を回収し、トリス(-ジケトナート)イリジウムを追加してオルトメタル化させる熒光性有機金属イリジウム錯体の合成方法であって、

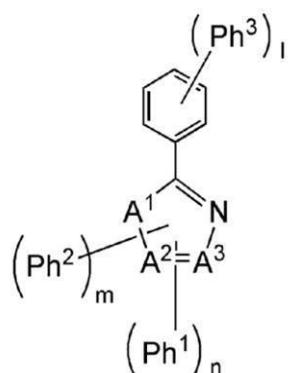
前記含窒素複素芳香族化合物は、前記オルトメタル化の反応温度よりも融点が低く、250における示差熱・熱重量同時測定の重量減少率が5%以内であり、分子量が300以上700以下であることを特徴とする熒光性有機金属イリジウム錯体の合成方法。

【請求項2】

請求項1において、

前記含窒素複素芳香族化合物は、下記一般式(G0)で表されることを特徴とする熒光性有機金属イリジウム錯体の合成方法。

【化1】



(G0)

(但し、一般式(G0)中、Ph¹～Ph³は、それぞれ独立に置換もしくは無置換のフ

エニル基を表し、 $A^1 \sim A^3$ は、それぞれ独立に炭素または窒素を表す。なお、 $A^1 \sim A^3$ の全てが炭素、または全てが窒素の場合を除く。また、 l 、 m 、 n は、それぞれ独立に 0 または 1 であり、その和は、2 または 3 である。)